

平成 23 年 8 月 25 日

各位

不動産投資信託証券発行者名

東京都中央区日本橋一丁目 5 番 3 号 日本橋西川ビル
インヴィンシブル投資法人

代表者名 執行役員 芝辻 直基

(コード番号：8963)

資産運用会社名

コンソナント・インベストメント・マネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 芝辻 直基

問合せ先 IR 担当部長 石鉢 路子

(TEL 03-3272-7311)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

インヴィンシブル投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、平成 23 年 8 月 26 日発表予定の「平成 23 年 6 月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

本投資法人は、平成 22 年 6 月中間期において、本投資法人の借入金について返済や更なる返済期限の延長について具体的な目処が立たず、これに加え、平成 22 年 12 月期においては、タームローン（平成 21 年 11 月 19 日付タームローン契約（その後の変更を含みます。）に基づく借入れ）、第 24 個別極度ローン（平成 21 年 11 月 19 日付極度ローン基本契約に基づき締結した平成 21 年 11 月 19 日付極度ローン個別契約（その後の変更を含みます。）に基づく借入れ）及びタームローン D 号（平成 22 年 2 月 1 日付タームローン契約（D 号）（その後の変更を含みます。）に基づく借入れ）について、期限の利益喪失事由が発生又は期限の利益喪失事由に該当したことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性があるものと判断し、平成 22 年 6 月中間期及び平成 22 年 12 月期において「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

本投資法人は、当該状況を改善すべくさまざまな資金調達の可能性について検討及び交渉を重ねて参りましたが、平成 23 年 7 月 29 日付にて、Fortress Investment Group LLC（以下「FIG」といいます。）の関係法人である Calliope 合同会社を新スポンサーとして迎えるとともに、第三者割当増資及び新規の長期借入れを実行いたしました。これらの資金及び手元資金により、タームローン（新生信託銀行株式会社）16,800 百万円（以下「本証券化ローン」といいます。）の一部を除く既存借入金を完済すると共に、本証券化ローンについて条件変更を行いその完済に向け一定の目処がついたことから、現時点において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、平成 23 年 8 月 26 日発表予定の「平成 23 年 6 月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

今後は、着実な内部成長及び外部成長と、FIG 及びその関係法人の国内外の金融機関との強固なリレーションシップを通じた安定した財務体制構築を実現していくことで、本投資法人の投資主価値の一層の向上を目指して参ります。

Invincible Investment Corporation

また、従前と変わらず、投資家の皆様に対して中長期的に安定的なキャッシュフローを提供するという志を忘れることなく、「アセットファイナンス」を常に意識した資産運用を行って参ります。

投資家の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

* 本資料の配布先：兜クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.invincible-inv.co.jp/>